

自身の能力が試されるやりがいがあります

福祉政策課 石黒 純 (一般事務 平成21年度採用)

小田原市役所を志望したきっかけ

私が小さいころは、小田原は非常に活気がある街だと感じていました。色々な場所に人や物が集まり、横の繋がりのある街だと思っていました。小田原に住んでいる間は、それがずっと続くものだと思っていました。

しかし大人になってから小田原を離れ、小田原以外の世界を経験し、帰郷するたびに少しずつ寂しい街になっているように感じる事がありました。その時に「小田原はだめだ」と諦めるのではなく、地元貢献という漠然なものでもなく、「自分が何とかしなくては」という危機感を感じました。

以前の活気ある街を取り戻すのに最も効率よく役立てると思い、小田原市役所を志望しました。



現在の仕事内容

生活困窮者に対する相談業務と、生活保護申請時の面接業務を担当しています。生活保護申請から生活保護を適用できるかどうかの調査に、速やかに繋がられるように仲介しています。

生活保護は生活の自立に向けた制度ですので、いち早く困窮状態を脱することができるように援助や支援を行っています。また、生活保護は最後のセーフティーネットと呼ばれており、「最後」であるが故に他の法律や制度も熟知していなければなりません。援助すべき内容が多く迅速性も必要であるため、「折衝力」「知識」「行動力」やコミュニケーション能力など、幅広い能力が求められる職場です。

仕事のやりがい

近年の不況等により、生活保護の申請件数は急増しています。そのため業務は多忙であり、ニーズや申請状況も多様化しています。その中で、いかに困難を乗り越えるかを考え、それを乗り越った時の達成感忘れられません。

また、個人に任せられる裁量、件数、金額も多いため、自身の能力が試されるやりがいがあります。



職場の若手の集合写真。元気がある職場です。

受験生の皆さんへのメッセージ

公務員試験ばかり目指すのではなく、多方面の説明会や面接を受けた方が良いと思います。

公務員ばかり目指すことによって、自分の世界や価値観を狭めてしまうかもしれません。「地元への貢献のために市役所へ」という意識は大切ですが、地元は逃げませんし公務員でなくても貢献はできます。人間形成や世界を知るためにも、多方面に触手を伸ばしてください。もしもその中で「色々を見てきたが、やはり小田原市役所で」と強く感じるようであれば、自信を持って受験すると良いと思います。我々もそのような熱意がある方たちが来られることを願っています。